

落橋事例

点検、補修の手入れを怠ると落橋に至る



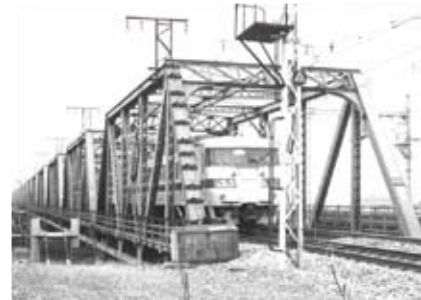
2009年に落橋した**辺野喜橋(沖縄)**



2007年**ミネアポリスブリッジ**の落橋(**ミネソタ州**)

しっかり手入れされた橋梁

点検、補修と手入れが行き届いた橋梁
は100年たっても現役で活躍してる



上淀川橋梁(大阪)
1899年 プラットラス橋
100年経っても現役で活躍する明治の橋

橋建協は長寿命化を支援します

橋建協は、市町村が管理する橋梁の「定期点検」を支援いたします
※専門技術者が市町村の橋梁の補修・補強および長寿命化を支援していきます

- | | |
|------|---|
| 支援目的 | 鋼橋を100年以上現役のまま働かせることを目的とする |
| 支援対象 | 各市町村が管理する鋼橋 |
| 支援組織 | 橋の相談室 技術顧問(25名) |
| 支援内容 | 点検調査を実施し
●健全 ●追跡調査 ●補修工事 ●緊急対策工事
の判定を行い、対策案の提示を行う |
| 連絡先 | 一般社団法人 日本橋梁建設協会 橋の相談室
TEL.03-3507-5225 / Eメール jasbc@mxm.mesh.ne.jp |

次世代に贈る

100年橋梁

しっかりとした管理で100年橋梁を後世に残す
まだ間に合う老朽化した橋の手直し



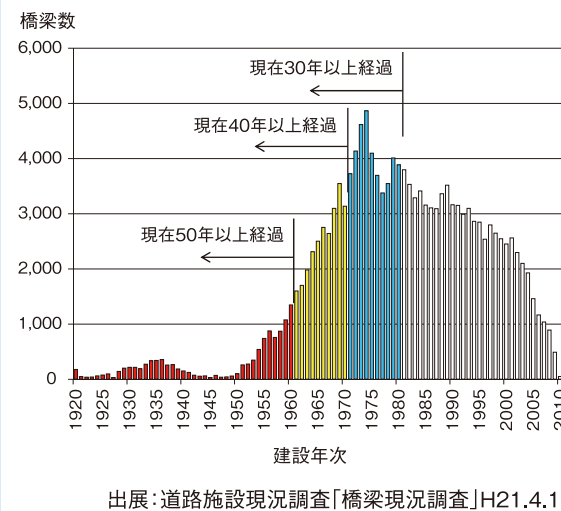
80年以上現役で活躍する永代橋

日本には沢山の橋が建設されている

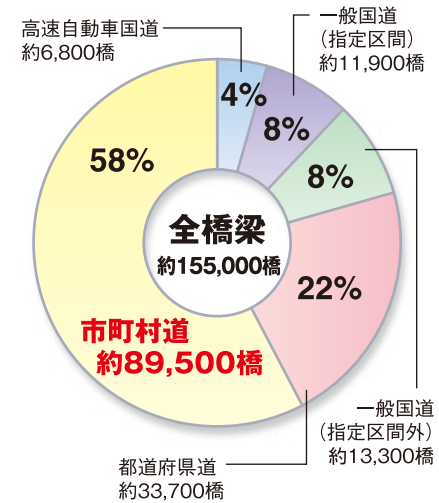
わが国には15m以上の橋梁が約15.5万橋建設されている

- 建設後50年以上経過した橋梁は 約1.3万橋(約8%)
10年後には 約4万橋(約26%)
20年後には 約8万橋(約53%)

建設年度別橋梁数



各道路種別における橋梁数

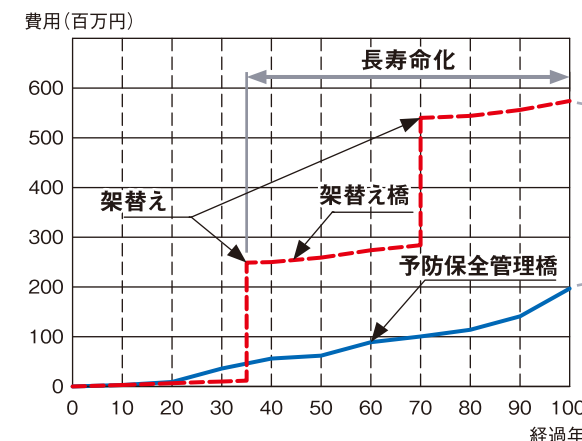


手入れの大切さ

橋の手入れを怠ると、補修、架替えに莫大な費用を必要とする

- 維持管理を怠ると橋梁が老朽化し架替えとなる
- 維持管理を怠ると20～30年で老朽化が進み落橋に至る
- 架替えには旧橋の撤去費を含め莫大な費用がかかる

予防保全の効果



架替えは**約3倍**の費用がかかる

- ◎ 架替え橋：35年置きに掛け替えで解体費を含め
総工事費5.75億円
- ◎ 予防保全管理橋：防水層、付属物等の取換えを含み
総工事費1.97億円

※ 橋長100m幅員10.2m連続非合成I桁橋で比較
※ 橋建協のLCCソフトにより算出

手入れを怠ると

手入れを怠ると橋梁は老朽化が早く、落橋の危険性があり、人命にも影響する

損傷の種類

- 鋼材の腐食、亀裂、破断
- 伸縮装置からの漏水、機能損傷
- 排水装置の腐食、機能損傷
- 床版のひび割れ
- 支承の腐食、機能損傷
- 凍結防止剤散布の塩害による腐食



コンクリート埋込み部の腐食による亀裂



表面から浸透した雨水が原因で遊離石灰が発生

予防対策

定期的な点検と簡単な補修で橋が長持する

点検のポイント

- 維持管理体制の確立による定期的な点検の実施
- 早期の異常発見による簡易な補修
- 原因の特定と排除
- 清掃による劣化の防止、損傷発生抑制

